

地域だより

町内会の防災訓練実践活動を紹介

市連合町内会事務局

市民サービスグループ内

☎ 2139

FAX 1108

片倉町内会

地域の安全は地域で守る



地震を想定した避難経路の確認などの防災訓練を行い、災害時の移動式炊き出し釜を借りての炊き出し訓練や、市消防署による自動体外式除細動器(AED)を使った心肺蘇生法を学びました。次回は、災害の発生時に自力で避難することが困難な方を重点とした防災訓練を計画しています。



片倉町内会
会長 佐々木勇司

若緑町内会

日ごろの備えは心のゆとり

安全・安心な町内会を目指し、震度5の地震発生を想定した防災訓練を行いました。地震発生のお知らせを受けてから災害対策本部のテント設置や車いすや簡易担架を使った救出避難、女性防災役員らによる炊き出し訓練などの実践を通し、災害時の心構えを再確認しました。



若緑町内会
会長 前田文彦

幌別鉄南地区連合町内会

災害に強い地域づくり



幌別鉄南地区連合町内会
会長 山田正幸

海に近い幌別地区で、地震による津波を想定した地域防災訓練を行いました。各町内会ごとに避難を開始し、交通量の多い道路に面した町内会では、パトカーの先導で避難場所までの避難経路を確認。その後、市消防署の救助工作車の紹介や住宅用火災警報器設置の説明がありました。

新生町望洋町内会

『支え合う・守り合う』町内会に



新生町望洋町内会
会長 斎 養太郎

高台に住宅が立ち並ぶ当地区では、大雨や地震による土砂災害に備えた避難訓練を実施しました。町内会の組織を活用した呼び掛け班や避難誘導班が連携し、100人近くの方が非常持ち出し品の入ったリュックを背負い、急勾配の坂道や階段を登って避難場所へ向いました。